

単元名 Let's Talk 1 ホテルでのトラブル

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 苦情を言うときや謝罪するときの表現の意味やそれらの働きについて理解し、状況を伝えたり謝ったりすることができる。
 (2) 飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取ることができる。
 (3) 相手に合ったお土産を選ぶために、食品表示を理解し、誰にあげたいかを考えて理由とともに発表しようとする。

標準的な展開例

11250103_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Let's Talk1 ホテルでトラブルについて苦情を言うときや謝罪するときの表現を学習する。 ★ホテルでのトラブルを解決しよう。 ○ホテルでのトラブルについて考える。</p> <p>○モデル対話の練習をする。</p> <p>○トラブルの場面を想定し、ロールプレイを行う。</p> <p>2 Grammar for Communication1 5つの文構造について学習する。 ★5つの文構造の分類について知ろう。 ○第4文型(SV00)と第5文型(SV0C)について復習する</p> <p>○ペアになり提示された文を分類する。</p> <p>○練習問題に取り組む。</p> <p>3 Learning HOME ECONOMICS in English 食品や食品表示に用いられる語彙を学習する。 ★相手に合わせて海外旅行のお土産を選ぼう。 ○誰にどのようなお土産を買うか話し合う。 ○お土産の食品表示を確認する。 ○お土産を買う相手とその理由を伝え合う。</p> <p>4 Let's Listen1 予定や近い未来についての情報を聞き取る。 ★機内放送から必要な情報を聞き取ろう。 ○機内での過ごし方について想像する。 ○離陸後の機内放送を聞き取る。</p> <p>○到着地の情報を聞き取る。</p> <p>○聞き取った情報を整理して伝える。</p>	<p>・STEP1に取り組みせ、ホテルで起こりうるトラブルを想像させる。 ・STEP2に取り組みせる。 ・重要な表現を確認し、どのような口調で話すべきかを考えさせる。 ・ペアでSTEP3に取り組みせる。 ・Tool Boxを活用させる。 【評】トラブルの場面を想定した対話活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・例文を提示し、目的語と補語の違いについて押さえさせる。 ・例文を複数提示し、ペアで5つの文型に分類させる。 【評】例文を5つの文型に分類する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・Let's Tryに取り組みせる。 【評】5文型についての練習問題を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ペアでTask1に取り組みせる。 ・Task2に取り組みせる。 ・グループでTask3に取り組みせる。 ・理由を含めて2文以上で自分の考えを伝えさせる。 【評】お土産を買う相手とその理由を伝える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ペアで考えたことを話し合わせる。 ・STEP1に取り組みせる。 ・複数回聞かせ、放送内容の理解を促す。 ・STEP2に取り組みせる。 ・複数回聞かせ、大切だと思う情報はメモを取らせる。 ・STEP3に取り組みせる。 ・ペアでジョシュ役と父親役に分かれ、対話を行わせる。 ・生徒の実態に応じて、対話のモデルを提示してもよい。 【評】機内放送を聞き取り、情報を伝え合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。